

## 高圧ガス施設等津波被害軽減対策事例シート

|                  |  |
|------------------|--|
| <b>整理番号</b><br>1 | <b>実施項目</b><br>津波浸水予測図の活用による各施設設備の想定津波浸水深と浸水レベルの把握 |
|------------------|--|

|                          |                        |                         |
|--------------------------|------------------------|-------------------------|
| <b>大項目</b><br>被害想定       | <b>細項目</b><br>浸水レベルの把握 | <b>関連事例</b><br>2、3、4    |
| <b>実施対象施設</b><br>事業所構内全体 | <b>実施費用</b><br>-       | <b>実施に要する期間</b><br>数日程度 |

### 津波被害事例等

- 想定津波浸水深の設定は、津波来襲時における避難対策、応急対策、その他予防対策等を検討するに当たって、最も基本的かつ必要不可欠な情報であり、あらかじめ把握しておく必要がある。

### 津波対策事例

#### <施設設備の浸水深の設定方法>

##### ①津波浸水予測の想定

県が実施している津波浸水予測図の中から、自事業所において最大浸水深をもたらす慶長型地震(下図)による津波浸水予測図を選定

##### ②施設設備の浸水レベルの把握

###### (1) 津波浸水予測図と施設レイアウト図との重ね合わせ

県が公表している津波浸水予測図(e-かなマップ「津波浸水予測図マップ」)を適宜活用し、拡大図で確認)と事業所施設レイアウト図を重ね合わせ、浸水エリアと各施設設備の浸水深を確認する。

【参考】 e-かなマップ(神奈川県ホームページ)

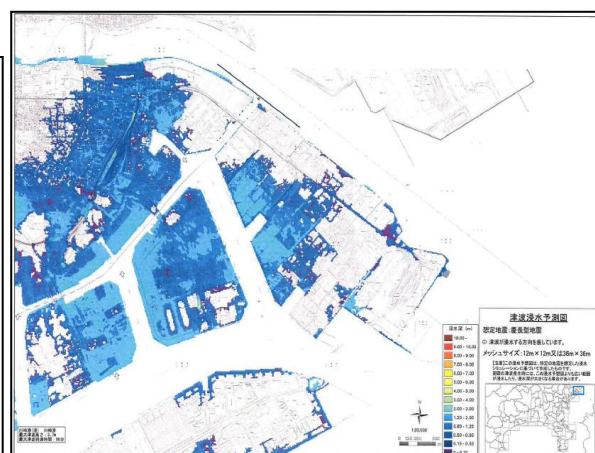
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f360944/>

###### (2) 防液堤高さ等の考慮

防液堤高さや事業所構内に設置している防潮堤等の高さを考慮し、各施設設備の浸水レベルについて再度確認する。



e-かなマップ画面(検索ページ)



県津波浸水予測図(慶長型)

### 要点

- どんな津波浸水予測にあっても予測の不確実性が伴っていることを考慮し、浸水範囲について適当なバッファゾーン(浸水予測の不確実性を考慮して任意に設定する一定の範囲)を加味して設定するなどの柔軟な対応が求められる。